

## 地域の芸術文化の活性化プロジェクト 「因州和紙の可能性」「現代音楽における民謡の可能性」

### 【概要】

#### (1) 地域協働人材育成部門プロジェクトとして期待できる成果

学生及び大学院生が、授業を通じて地域の芸術活動の企画・運営に関わり、自治体や地域の芸術団体と協働して事業を展開するプロジェクトである。

学生は大学教員の指導の元に、文化政策・アートマネジメントの見地から事業企画の問題点の検討を行うと共に、具体的な運営の方法、また自治体や芸術家との良好なコミュニケーションの重要性を実践的に学ぶことが可能となる。一方、自治体や地域の芸術団体は、企画内容や芸術活動の質や内容について、専門家としての大学教員の知見を得られることに加え、大学生の行動力や新鮮な発想を事業に活かすことが可能となり、そのことにより、地域の芸術文化の質の向上や活性化をはかることができる。

具体的な授業としては、地域文化学科芸術文化コースの「地域芸術実践ゼミⅠ」、「地域芸術実践ゼミⅡ」、「芸術と地域ゼミⅠ」、「芸術と地域ゼミⅡ」及び地域学研究科地域創造専攻(地域文化分野)の「地域フィールドワーク」授業において当プロジェクトを実施する予定である。

#### (2) 具体的な事業内容

##### ① 「因州和紙の可能性」(授業:「芸術と地域ゼミⅠ」、「芸術と地域ゼミⅡ」)

和紙を使用して積極的に芸術文化を制作している著名な作家を招聘し、因州和紙の魅力、可能性について講演会及びワークショップを実施する。

##### ② 「現代音楽における民謡の可能性」(授業:「作曲入門」、「音楽の基礎」「地域芸術実践ゼミⅠ,Ⅱ」「地域フィールドワーク」) 韓国の作曲家 Hyun Woo Lee 氏 (Jeonju大学客員教授) 他1名を招聘して、氏の朝鮮民謡を素材とした最新作「GASRI Fantasy 2013」などを題材として、現代音楽における民謡の可能性についての講演会およびワークショップを開催する。

【キーワード】 地域の芸術文化活動

【参加メンバー】 芸術文化センター 教授 石谷 孝二 (プロジェクト代表)

##### ① 「因州和紙の可能性」

芸術文化センター 教授 石谷 孝二 (プロジェクト総括)

芸術文化センター 教授 平井 覚 (プロジェクト分担)

芸術文化センター 講師 筒井 宏樹 (プロジェクト分担)

##### ② 「現代音楽における民謡の可能性」

芸術文化センター 教授 新倉 健 (プロジェクト総括)

芸術文化センター 教授 西岡 千秋 (プロジェクト分担)

【計画】 3カ年にわたり継続的に実施する。1年目は試行、2年目は実践、3年目は評価の年度に位置づけプロジェクトの事業を展開する。

【地域連携先】 あおや和紙工房 〒689-0514 鳥取県鳥取市青谷町山根 313 TEL:0857-86-6060

アンサンブル・ココペリ (代表:松田素子 TEL:080-3485-7476)

「あら環ぱにい芸術祭実行委員会」(齋藤 基 TEL:090-3748-9898)

作曲工房「パパゲーノ」(代表:上萬雅洋 TEL:080-6336-4950)